

介護老人保健施設しおん

症 例 概 要 ご利用者 90歳代 女性 （要介護2）

利用期間 : 2024年2月～現在

現病 : 大腿骨骨挫傷、変形性脊椎症、

既往 : 大腿骨頸部骨折、脳梗塞後遺症、胆のう管結石症、心不全、直腸がん、帯状疱疹

経過 : 2023年に石巻健育会病院にて右大腿骨人工骨頭置換術を受けリハビリ後に自宅へ退院し独居にて生活していた。2023年12月に自宅のトイレで転倒し体動困難となっている所をヘルパーが発見しI病院へ救急搬送。骨折は無かったが歩行困難を訴えご本人の希望により健育会病院へ入院。ご本人から「リハビリがしたい」、「自宅は一人だから心配」、「誰かの居る所にいたい」としおんへ入所を希望した。

内 容

石巻健育会病院からの情報ではリハビリは意欲的だが、それ以外はやる気がなく生活活性化が課題であった。入所後もリハビリ以外では自分で動こうとせず、声を掛けても「疲れるから嫌だ・寝ていたい。」との発言が多く出ており、リハビリ以外で離床する時間を作ることを考え、アロマケアを提案したところ「ぜひ受けたい」との話があり施術を開始した。

初めてのアロマケアは表情も固く半信半疑の様子でしたが、1月程すると表情も和らぎ、リラックスできたおかげか、会話も増え若い時は自身の足の綺麗さが自慢だった事や昔履いていたブランド品のヒールやワンピースをでおしゃれをした事等を懐かしむように語っていた。

リハビリやアロマケアを継続することで少しずつ出来る事が増え、ご本人も意欲的になり笑顔も増えました。また、生活が活性化した事で車いす自走が可能になり外に散歩に行きたいと訴えたり同ユニットのご利用者と笑顔で会話が弾むようになった。

今回のケースで不活発な状態にアロマケアが効果的であることを感じられた。今後もご利用者にアロマケアを継続し、タッチングやマッサージで幸せホルモンを出していけるようなケアを行っていく。